

2025. 10. 1

歴史民俗資料館だより No.161

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<https://www.city.nagasaki.lg.jp/page/2481.html>

資料館 HP



秋の企画展

「昭和を旅する」

会期 10月16日(木)～12月21日(日)

展示品 旅行カバン・絵葉書・旅行案内地図・炊飯道具・食器類・酒樽・ラジオ など

はじめに

今年は昭和元年(1926)から100年目にあたります。昭和時代は、明治・大正時代からのモダンな風潮を受け継ぎながら、激動と変革、苦難と復興が次々と訪れた激流の時代でした。また、近代的な文化の定着や大衆文化の発展、生活の変化など、現代の日本につながる様々な転換点でもありました。

今期企画展では、「昭和を旅する」と題し、「旅」と「暮らし」をテーマに、戦前を中心とした昭和時代の長崎にまつわる資料を展示します。

この機会に昭和時代を振り返り、先人たちがどのような時代を生き、それが現代の長崎へとどうつながっているのかを見つめてみたいと思います。

さあ、これから昭和の長崎を旅してみませんか？

企画展の開催にあたり、資料をご寄贈、ご提供いただきました多くの市民の皆様と関係者各位に深くお礼申し上げます。

昭和100年目の旅へ



▲日本旅行地図(主婦之友付録)

昭和6年(1931)発行



蛇腹式カメラ ▶

昭和初期頃 弓削 修氏寄贈



革製旅行カバン

昭和初期 林田 不二子氏寄贈



景勝の長崎(吉田初三郎画)

昭和9年(1934)発行 白井和夫氏寄贈

吉田初三郎(1884～1955)は大正・昭和にかけて活躍した鳥瞰図絵師。独特の作風で、大正から昭和初期にかかる日本の観光ブームのなか全国各地の鳥瞰図を描きました。制作にあたっては風土や歴史を調べ、現地に赴き取材を行っていました。

昭和初期ごろの長崎

大正・昭和初期にかけて、全国的に交通網が広がり、観光地も整備され、多くの人々が移動できるようになりました。観光ブームが到来し、観光案内のパンフレットや名所旧跡の絵葉書などが作られました。長崎市では大正時代終わりごろから上海航路が始まり、さらに出島岸壁の整備や臨港線が開通したことで、市街地の名所へ多くの観光客が訪れました。



長崎市案内地図

昭和9年(1934)発行 白井 和夫氏寄贈



絵葉書 中川カルルス桜満開の景

昭和16年(1941)頃 堺屋 修一氏寄贈



カルルス香入扇子

昭和初期 安田 道夫氏寄贈

昭和の暮らし



絵葉書 長崎東濱町通り

昭和10年(1935)頃
個人借用



酒德利 肥塚商店銘

古賀 敏之氏寄贈



ガラス製コンポート

昭和初期頃使用 斎藤 節子氏寄贈

ラジオ放送 100年

世界では大正9年(1920)にアメリカにラジオの放送局が誕生しました。日本も同11年頃から無線電話の実用化に向けた動きが活発化。大正14年(1925)3月に東京放送局より第一声が届けられることとなります。長崎では昭和8年(1933)に、NHK長崎放送局が開局し、長崎くんちが全国中継されました。



ナショナルミゼット型ラジオ

昭和初期 六倉 筒井氏寄贈